center medical co-op wakayama和歌山中央医療生活協同組合center medical co-op wakaya

組　織　だ　よ!!　り　2011.11.16 NO268

11/16　現在
月間仲間ふやしは
388人です

第19回県高齢者大会、会場いっぱいの500人が参加

古田生協病院長が記念講演

11/15（火）第19回和歌山県高齢者大会が紀の川市打田保健福祉センター・ホール田園で開催されました。県下各地・地域連絡会から500人が参加し、熱気あふれる大会となりました。紀の川市、岩出市の後援と紀ノ川市、岩出市両老人クラブ連合会の協賛もしていただく中、青洲太鼓で華やかにオープニング。主催者あいさつ、地元那賀実行委員会から歓迎のあいさつがありました。基調報告では、県内27万1千人の高齢者のうち、5万5千人が1人暮らしであると報告され、低年金の中での厳しい高齢者の暮らし、後期高齢者医療制度など社会保障の改悪、東日本大震災や台風12号による大水害の犠牲者・被災者の多くが高齢者であることが報告され、町から村からの連帯でひとりぼっちの高齢者をなくそうと県内での高齢者運動を強めようとよびかけました。各地の地域連絡会の活動報告では、東牟婁の代表が、熊野大洪水から高齢者のくらしと災害、防災について報告されました。日高連絡会の代表からは、県高齢者大会を2年前に日高で行った後、日高地方の高齢者のつどいを連続して開催しているなど、地域連絡会活動の経過報告がされました。その後、文化交流として、太極拳・花笠音頭、フラダンスが披露され第1部が終了しました。

第2部は、和歌山生協病院・古田光明院長が「高齢者が元気で生活できるために」をテーマに講演しました。高齢者の運動、食生活（栄養）、血圧管理について、わかりやすく話され、場内笑いの中、参加者が元気になる話となりました。

小倉文化まつりで健康チェック：小倉支部

11/13（日）小倉小学校で開催された小倉文化まつりで健康チェックを行ない、支部から12名、職員5名が参加しました。体育館に設置した健康チェックコーナーには朝10時から沢山の来場者が健康チェックに訪れ、160名以上に血圧、体脂肪、骨密度測定を行いました。このまつりでの健康チェックが毎年恒例となっているため、訪れた多くの方が「良くなった」「悪くなったから、頑張ろう」など去年の数値と比べて、感想を漏らしていました。支部の組合員さんも沢山参加協力し、医療生協活動と支部の明るい雰囲気を小倉地区で伝えることができました。

2011年生協強化月間仲間ふやし状況（月間目標は年間目標の8割到達）

	東地区			中地区			南地区			河西地区			那賀地区			海南海草地区			その他			計		
	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残
4/1～7/31		85	515		2	62		23	97		18	62		6	114		12	52		4	148		150	1050
8/1～8/31		33	482		2	60		4	93		2	60		1	113		0	52		1	147		43	1007
9/1～9/30	600	41	441	64	2	58	120	7	86	80	7	53	120	11	102	64	1	51	152	2	145	1200	71	936
10/1～10/31		129	312		8	50		13	73		23	30		10	92		39	12		5	140		227	709
11/1～11/16		17	295		1	49		5	68		13	17		7	85		2	10		2	138		47	662
計		305			15			52			63			35			54			14			538	
8/1～11/16		220			13			29			45			29			42			10			388	